

施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 1 - (7)

政策体系	施策名	変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援	所管部局名	教育庁	長期総合計画頁	147
	政策名	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	関係部局名	教育庁		

【 . 主な取り組み】

取組			
取組項目	多様な学習活動への支援	社会全体の「協育」力の向上	コミュニティの協働による 家庭教育支援の推進

【 . 目標指標】

指 標	関連する 取組	基準値		29年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
公立図書館の利用者数(万人)		H26	229	234	250	106.8%	237	245						
「協育」ネットワークの取り組みに参加する地域住民の数(万人)		H26	7.8	8.7	8.7	100.0%	9.3	10.6						

【 . 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
達成	読書推進活動により公立図書館における他部局との連携や読書イベントが充実したほか、竹田市立図書館の新築などにより利用者が増加し、目標値を達成した。	達成
達成	統括アドバイザーを活用した校区ネットワーク間の連携促進や家庭教育推進キャラバンの実施など活動内容を充実したことにより、目標値を達成した。	

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域「協育」サポートリーダー育成講座を開催(受講者59人)し、地域教育力の向上を担う人材を育成した。 ・地域婦人会の新たな活動の創出に向けた企画会議等に女子学生等が参加したことにより、若い世代が関心を持てる新たな地域活動が展開された。
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係団体の会員等を対象に「地域活動実践交流会」を実施したことにより、団体間の連携が図られ、地域における子どもの見守りや相談・連絡体制が構築されるなど、地域教育力が向上した。 ・地域人材を活用した放課後等の活動に12,839人の児童・生徒が参加した。(前年比+1,025人)
	<ul style="list-style-type: none"> ・「協育」ネットワークを基盤とした「協育」力を活かし、学校・家庭・地域をつなぐ家庭教育支援体制を整備したことにより、家庭教育支援の取組に参加する地域住民が2,860人増加した。(H28:3,192人 H29:6,052人)

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	地域教育力パワーアップ事業	26,899	A	継続・見直し	267
	女性の地域協働活動支援事業	12,744	A	継続・見直し	265
	「協育」ネットワーク連携促進事業	75,594	A	継続・見直し	266

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>女性の地域協働活動支援事業実践活動報告会(H30.2)</p> <p>・婦人会の会員が高齢化により減少し、残った会員の負担が大きくなっているため、他団体と連携して活動することは大変参考になった。</p>	
----------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせグループやPTAなど社会教育関係団体と連携し、公立図書館や公民館等において地域の歴史・文化などふるさとの魅力を大人から子どもたちへ伝承する機会を創出することにより、子どもたちの学ぶ意欲を高める取組を促進する。 ・地域婦人会と協働して地域課題の解決に取り組む社会教育関係団体の堀り起こしを行い、協働活動の活性化を図ることにより、団体間交流と世代間交流を促進する。 ・子どもたちへの補充学習や体験活動の機会拡大に向け、校区ネットワーク間の連携を促進する支援者の確保と教育プログラムの充実を図るとともに、地域活動への関わりを通じて支援者自身の生きがいづくりと社会参画を促進する。 ・家庭教育の意義や重要性に係る理解を深めるため、家庭教育推進キャラバンの実施等により「おおいた親の学びプログラム」の普及促進を図る。